

## 130312 早春の可憐な花

「**ダイヤモンドトレール**」を歩いていると...

歩道沿いの林内で、小さな白い花が三輪、ひっそりと咲いていました。

「**早春**」とは言え、まだまだ肌寒い山の中、積雪こそ消えたものの、野草や木々が花を咲かせるのはもう少し時間がかかるのかな、と思っていました。

花が咲かないと、吸蜜に訪れる虫たちの姿もないので、何か物寂しげな樹林内でしたが、そこで偶然にも可憐な白い花を見つけたのです！

他の花に先駆けて、すこぶる早く開花するこの野草、名前は「**セリバオウレン**」という、高さが15 cmほどの小さな多年草です。

漢字で書くと「**芹葉黄連**」、小葉が「**セリ**」の葉のように細かく切れ込んでいる、「**オウレン**」の変種、ということが命名の由来だそうです。

早春に可憐な花を咲かせ、夏まで葉をつけると、あとは地下で過ごす「**春の妖精**」、スプリングエフェメラルの一種かと思いきや、この種は夏場以降も年間を通して葉をつけていますので、「**春の妖精**」とは少し違うようですね...

ちなみに、生薬「**黄連**」は、この種の根茎を乾燥してつくったもので、消炎、解熱などの薬効があるようです。









